

Pierrot lunataire



工藤あかね (ソプラノ)



廻 由美子 (ピアノ)

月に憑かれた ピエロ

— 多彩なる幻想 音楽の宴 —

ヘンリー・マンシーニ / 廻 由美子 編
ムーン・リバー

リチャード・ロジャース / 廻 由美子 編
マイ・フェイヴァリット・シングス
("サウンド・オブ・ミュージック"より)

ジョージ・ガーシュイン / 廻 由美子 編
サマータイム ("ポギーとベス"より)

フリードリッヒ・ホーレンダー / 廻 由美子 編
ブルー・エンジェル (映画「嘆きの天使」より)

服部良一 / 廻 由美子 編
蘇州夜曲

クルト・ヴァイル
マック・ザ・ナイフ ("三文オペラ"より)

クルト・ヴァイル
ヒモのバラード ("三文オペラ"より)

エリック・サティ
「エンパイア劇場のプリマドンナ」

エリック・サティ
「潜水人形」

アーノルド・シェーンベルク
「月に憑かれたピエロ」(ヴォーカル&ピアノ版)

2022

4.9 sat

開演 14:00

開場 13:00

神奈川県立相模湖交流センター ラックスマン ホール

JR中央本線「相模湖」駅より徒歩約10分 中央自動車道「相模湖東」インターより約5分

2022

1.22 sat 予約受付開始【全席自由】

一般

3,000円

友の会・シニア

2,700円

学生・障がい者

1,500円

予約・お問合せ

相模湖交流センター 042-682-6121

(9:00-21:30 月曜休館 / 祝日の場合は翌日休館)

チラシ背景画: 浜田澄子《四角い宝石 青》(2013)

2022.5.20~6.5 個展『浜田澄子の世界』当館にて開催 / 詳細は裏面をご覧ください

シェーンベルクの代表作を中心とした 色とりどりの音楽に身を委ねて

現実から離れて幻想に浸りたいあなたへ贈る、少し不思議なクラシックコンサート。

当館ホールが誇る美しい音響効果により、個性豊かな名曲の数々があなたの全身を包み込むこと
でしょう。時には華やかで、時にはひそやかな、音楽世界への逃避行をお楽しみください。

工藤あかね・廻 由美子の二人だからこそ実現可能な、唯一無二のパフォーマンスにもご注目を。

月に憑かれた ピエロ

—多彩なる幻想 音楽の宴—

工藤あかね (ソプラノ)



幼少よりクラシック・ギターを学び、GLC学生ギターコンクール第1位ほか受賞。立教大学仏文科卒業後に声楽に転向し、東京藝術大学卒業。日興文化協会「フレッシュ・コンサート」にて最優秀賞、アテネ・オリンピック記念「国際ミトロポリス声楽コンクール2003(ギリシャ)」日本代表。オペラや宗教曲のソリストとして歌う一方、数多くの新作初演を手がけ、演奏はNHK-FMなどでも放送されている。身体表現を伴う先鋭的な作品にも興味を持ち、シュトックハウゼン講習会(ドイツ)で学ぶ。リサイタル「Secret Room」で取り上げたシュトックハウゼン「ティアクライス(十二宮)」では、みずから振りつけた舞踏を伴って歌い、この作品に「踊るソプラノ版」という新たな解釈を拓いた。また無伴奏リサイタル「Secret Room Vol.2《布と箱》」上演の際には、ソプラノ、ギター、舞踏を一人で担う松平頼暁「Trio for One Player」を初演。これまでにサントリー芸術財団「サマーフェスティバル」、「Tokyo experimental Festival」、「Tête à Tête The Opera Festival(ロンドン)」、「ダ・ヴィンチ音楽祭in川口」、「草津夏期国際音楽フェスティバル」などに出演しているほか、ヴィエルヌ「憂鬱と絶望」「ボードレールの5つの詩」や、退廃音楽のレッテルを貼られたシュルホフ、ウルマンらの歌曲をはじめ演奏機会の希少な作品紹介にも情熱を注いだ。また、これまでにサティ「ソクラテス」全曲、メシアン「ハラウィ」、シェーンベルク「架空庭園の書」を歌ったほか、廻由美子氏の主催する「新しい耳」テッセラ音楽祭ではシェーンベルク「グレの歌」(第一部全曲)、「月に憑かれたピエロ」など、大規模声楽作品も手がけている。第1回柳慧コンテンポラリー賞受賞。レロイの音楽劇「THE鍵KEY」(原作:谷崎潤一郎)にて第19回佐治敬三賞。

廻 由美子 (ピアノ)



桐朋学園高校音楽科を経て桐朋学園大学ピアノ科を卒業後、渡米しインディアナ大学音楽学部で学ぶ。帰国後、活発なる演奏活動を展開。行われたリサイタルの多数が「音楽の友」誌上で「年間コンサートベストテン」に選ばれる。ソロ、アンサンブル、またオーケストラのソリストとして、多くの著名オーケストラと共演。作品への深い理解から来る圧倒的な表現力、生命感溢れるリズム感、様々なジャンルのアーティストにもインスピレーションを与え続けている。レコーディング活動の分野では、古典から近・現代音楽、また、ジャズ・アレンジに至るまで、これまで20枚以上に及ぶアルバムをリリースし、その数多くが「レコード芸術」誌上で「特選盤」に選ばれる。「パルトーク/二台のピアノと打楽器のためのソナタ」のアルバムは、全米でリリース。また、クラシック・アコーディオンの最高峰であるシュテファン・フツソングとのデュオは10年を超え、共演CD「原田敬子:F/Fragments」はドイツWERGO及び日本でリリースされ、ドイツ、日本の各メディアで高い評価を得、「レコード芸術アカデミー賞」にノミネートされる。2017年には原田敬子作品のデュオ・アルバム「midstream」がドイツWERGOと日本でリリース。2019年にはカナダの作曲家Hope Leeとの共同プロジェクトで、カナダCMNよりソロ・アルバム「across the veiled distances」がリリースされる。ジャンルを超えたアーティストからの信頼も厚く、ジャズ、即興、鳥唄、演劇、ダンスなどとのコラボレーションなど多数。アレンジやオマージュ作品なども手がけ、シアターピースへの参加も数多い。2007年より年2回主宰する「新しい耳」テッセラ音楽祭は2022年5月には30回をむかえ、ボーダーレスの個性派音楽祭として注目され、ドイツの音楽誌にも紹介される。ドイツ、カナダ、イタリア、台湾などの現代音楽祭に招聘されており、海外のアーティストとの交流もさらに広がっている。現在、桐朋学園大学音楽学部教授。

コロナ禍での公演実施に関して

相模湖交流センターでは公演を行うにあたって、『相模湖交流センター 拡大防止ガイドライン』に則り、催事を開催致します。つきましては新型コロナウイルス感染拡大防止のため、情勢によっては座席数の変動、公演中止または延期をする場合がございます。ご来館前に相模湖交流センター HP や SNS、お電話等で公演に関する最新の情報や『拡大防止ガイドライン』をご確認いただけますと幸いです。ご来館の皆様にはご不便をおかけ致しますが、何卒ご理解ご協力をお願い申し上げます。

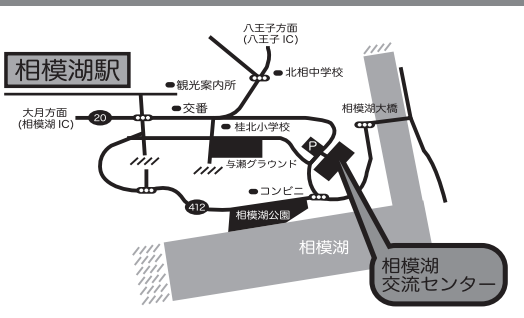
2022.5.20金～6.5日

10:00～17:00 ※23、30日は休館
相模湖交流センター アートギャラリー

『浜田澄子の世界』

折り重なる和紙の起伏、透過と蓄積によって深まる彩色、浜田澄子はそれらを作品として磨き上げていきます。地層あるいは年輪のように累々と作り上げられていくそれは、正しく「浜田澄子の世界」といって相違ないでしょう。

手漉き和紙とアクリル絵具が何層にも重なり、コラージュされ、一つの画面の中で幾何学的な形をとりながら木肌のように有機的な質感を持っている浜田氏の作品を、山間のギャラリーである相模湖交流センターでご高覧ください。



◆電車でお越しの方

JR中央本線「相模湖」駅下車、徒歩10分

駅前商店街を抜け、信号を渡りそのまま直進。階段を下りたところを左へ道なりにお進み下さい。



◆車でお越しの方

中央自動車道・国道20号八王子方面から相模湖東出口より約5分

大月方面から相模湖インターより約10分

国道412号(相模原・厚木方面)三ヶ木交差点より約15分

※コンサートにお越しのお客様には、当館駐車場の無料券を配布しております。

神奈川県立相模湖交流センター

〒252-0171 神奈川県相模原市緑区与瀬 259-1

Tel. 042-682-6121 9:00-21:30 月曜休館(※月曜祝日の場合翌日)

